

# 水土里情報活用ニュース・レター

第 141 号

2020/12

## 目 次

1. 施設機能診断におけるモバイル端末を活用した現地調査方法の検討事例について紹介します  
(福島県) … 1
2. 現地調査用GIS：水土里モバイルJSシステムについて紹介します (千葉県) … 3
3. 水土里情報システムを活用した施設情報等の管理について紹介します (大阪府) … 5
4. QGISを用いた水土里情報の活用事例について紹介します (徳島県) … 7
5. 水土里情報を活用した中山間地域等直接支払業務について紹介します (鹿児島県) … 9

### ■お問い合わせ先 (全体)

農村振興局整備部設計課計画調整室 長期計画班 高橋、北條 (電話番号) 03-6744-2201

今回紹介する団体：水土里ネット千葉

## 取組概要

内容： マルチプラットフォーム対応の現地調査用GISシステム（オンライン配信型）の運用を開始しました。

- 特徴：
- ・ プロジェクト管理を行うデスクトップ用クラウドGIS（水土里クラウド）で調査プロジェクト（地図ページ）を作成、調査端末から本システムページにアクセス。
  - ・ スマートフォン、タブレット、WindowsPCなど、様々なプラットフォームに対応。専用アプリを必要とせず、インターネットブラウザでの利用が可能。
  - ・ タッチパネルでの情報入力を容易にする選択入力式。入力値メニューは設定ファイルで入替え可能。システム上でも値の追加・編集可能。
  - ・ ユーザ権限管理で複数の調査プロジェクトにアクセス可能。
  - ・ 複数主題図、地物フィルタを使用可能。（水土里クラウドで事前準備）
  - ・ 現在地表示や経路検索など豊富なオプションを実装。



（調査プロジェクト作成：水土里クラウド）



（モバイル上の地図表示）

- 経緯：
- ・ 本会で運用している水土里情報クラウドシステムの現地調査用サブシステムとして運用。
  - ・ 過年より現地調査におけるシステム利用では汎用GIS+GPSオプション利用を割り当てていたが、屋外での操作性に乏しく設備費用も嵩むことから本システムへの整備に移行。
  - ・ 多面的機能支払、耕作放棄地、経営所得安定対策等の現地調査・確認において県下の市町村から調査システム改善について要望。

## 取組による効果

- ・ 現地でのデータ入力に特化したインターフェースによりスムーズな調査結果の入力が可能。調査時間及び帰庁後の整理手間を短縮。
- ・ 調査端末の GPS 連動で現在位置が地図上に表示されることから、迷わずに調査が進められる。
- ・ データ更新は更新分のみマスターに反映・再配信できるため、調査員間で随時調査結果のデータ共有が可能。  
また主題図表示による調査の実施状況（済／未）を着色表示、検索による未調査農地の確認など、調査漏れのフォローも容易。
- ・ 水土里クラウドとの連携により、調査プロジェクトの作成、調査・更新（反映）、とりまとめ・調査結果図の作成までを一体的に進めることが可能。



（調査結果の入力）



（主題図表示：地目、調査状況）

## 今後の活用予定

- ・ 調査用の専用端末、通信環境を用意できない機関が多数。当会としても個人の負担とならないようなサービスの提供（システム利用費＋調査端末貸与のパッケージ化など）を検討していきたい。
- ・ 調査プロジェクトの作成操作がやや複雑なため、できる限り簡易になるよう改良するとともに、利用機関の管理者育成にも注力したい。

## GISシステムのバージョン情報

水土里モバイル JS : GC JSBase  
水土里クラウド : GeoConic Planets

※システム名称は変更となることがあります。

### ■お問い合わせ先

千葉県土地改良事業団体連合会（水土里ネット千葉） 技術部 水土里支援課

043-241-7745（直通）